

正誤表
 (第1版・第1刷に対応)

頁	行	誤	正
103	解説 図5.3.1 2) 割増し係数	分子 0.85	分子 1
113	下か4行目	強制練りにはパン型、水平一軸型、水平二軸型がある。	強制練りにはパン形、水平一軸形、水平二軸形がある。
114	文章の最初	傾動式ミキサおよびパン型ミキサは25秒以内、水平一軸型、水平二軸型ミキサでは15秒以内で・・・	傾動式ミキサおよびパン形ミキサは25秒以内、水平一軸形、水平二軸形ミキサでは15秒以内で・・・
150	解説 表7.3.3の 中段、下段の配筋 図		
150	解説 表7.3.3の 中段、下段の配筋 図		
151	解説 表7.3.3の 部材接合部の配筋 図	凡例(赤斜線部)： 換算鋼材量算出対象領域	換算鋼材量算出対象領域
182	解説 図7.6.1		
資料-34	5行目	なお、コンクリート材料の規格編を本指針(案)4.6節に記載する。	なお、コンクリート材料の規格編を本指針(案)4.6節に記載する。
資料-44	下から11行目	・・・スラブの平均値は順に、8.3、12.0、 <u>15.9</u> 、18.4cmとなる。	・・・スラブの平均値は順に、8.3、12.0、 <u>14.9</u> 、18.4cmとなる。
資料-45	資料 図5.2.3		図面の差し替え(解説図7.6.1と同図)
資料-82	参考文献	8) 村田二郎, 川崎道夫, ... pp.107-112, 1986	削除